

# ニッポン ドクター和の 臨終医団 卷



# 二ツポン

長尾和宏（ながお・かずひろ） 医学博士。東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。近著「薬のやめどき」「痛くない死に方」はいずれもベストセラー。関西国際大学客員教授。

長尾和宏（ながお・かずひろ） 医学博士。東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。近著「薬のやめどき」「痛くない死に方」はいずれもベストセラー。関西国际大学客員教授。

ホテルで食事をとり、午後11時頃に部屋に戻った後でした。腹痛を訴えたそうです。共演者の松重豊さんらが付き添つて最寄りの病院へ行きました。しかし、駆け付けた共演者やご家族に見守られる中、日付の変わった21日未明に息を引き取りました。66歳。死因は急性心不全でした。

「俺があのとき採用しなかった

ら、こんな忙しい俳優になる」ともなく、早く逝くこともなかつたんじゃないのか」という思いが込められていました。

大杉さんが体調不良を訴えたのは2月20日。千葉県内でドラ

マの撮影が終わり、共演者うと

100

A close-up portrait of a man with dark hair and glasses, wearing a dark suit jacket. He is looking slightly to the left of the camera.

100

卷之三

杉さんは胸痛ではなく、腹訴えていたのになぜ、心臓病だったのか？と疑問に思われます。ある時は突然多くには急性心筋梗塞が混じっています。あるいは突然の背部痛なら大動脈解離のこと。このように病む臓器から少し離れている場所が痛むことを「放散痛」と言います。これを見逃して胃内視鏡など消化器の検査をしている間に取り返しが駆け付けた共演者や家族守られる中、日付の変わった日未明に息を引き取りました。しかし珍しいケースではないよう感じます。

つかなくなることもあります。  
急性心筋梗塞では肩や腕、腰の痛みを訴える人もいます。若い人なら耐え難い、尋常ではない胸痛や圧迫感を訴えることもあります。しかし心筋梗塞＝胸痛とは限らず、上腹部痛である場合もあることは知っておいてください。私は、その痛みが「今まで経験したことのないような痛みか」「脂汗をかいているか」と問診します。

さて、たけしさんは「俺が死なせたみたい」と嘆かれました。が、大好きな役者仲間に囲まれて、仕事の最中に亡くなられた大杉さんは、素晴らしい俳優人生だったともいえるでしょう。

「役者は一度死ぬ」とよく言つれども（役者）が死んで誰

ねえます（役者たにてなく誰でも）

き。二度目は、誰からも忘れ去

られたとき。そう考へると、多くはうの壁間に一匹のやつ

この人たる愛された方々との二度目の死は、まだ遠い未来に

あるのでしょうか。

# 死直前、襲つた「放散痛」